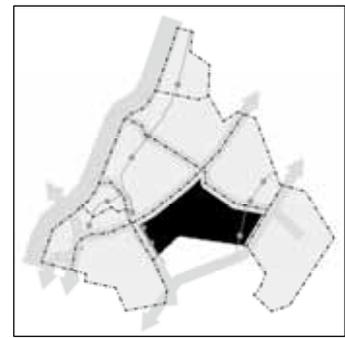


(7) 中南部景観区域

地域景観の課題と方向性

中南部景観区域は、穂谷川・天野川・国道1号・第二京阪道路に囲まれた区域であり、区域の中央を東西に国道307号、南北に府道枚方交野寝屋川線が通り、これらの道路の結節点を中心に大規模な工業団地が形成されています。周辺には田園や住宅と混在した中小工場が見られ、全体としてうるおいの少ないまちなみとなっています。今後は、まちの中で大きな面積を占めるそうした工場群において、はたらく人や住む人にとって快適で調和のとれたまちなみの形成を図っていきます。

また、区域東部のJR学研都市線の津田駅周辺には古くからの集落や田園、大規模なため池等が点在し、計画的に整備された住宅地も見られ、新旧の多様な景観が形成されています。区域西部の京阪交野線の沿線では天野川によって河岸段丘が形成され、天野川沿いの低地では田園景観、段丘から台地にかけては段丘の緑と住宅市街地が形成する景観が見られます。



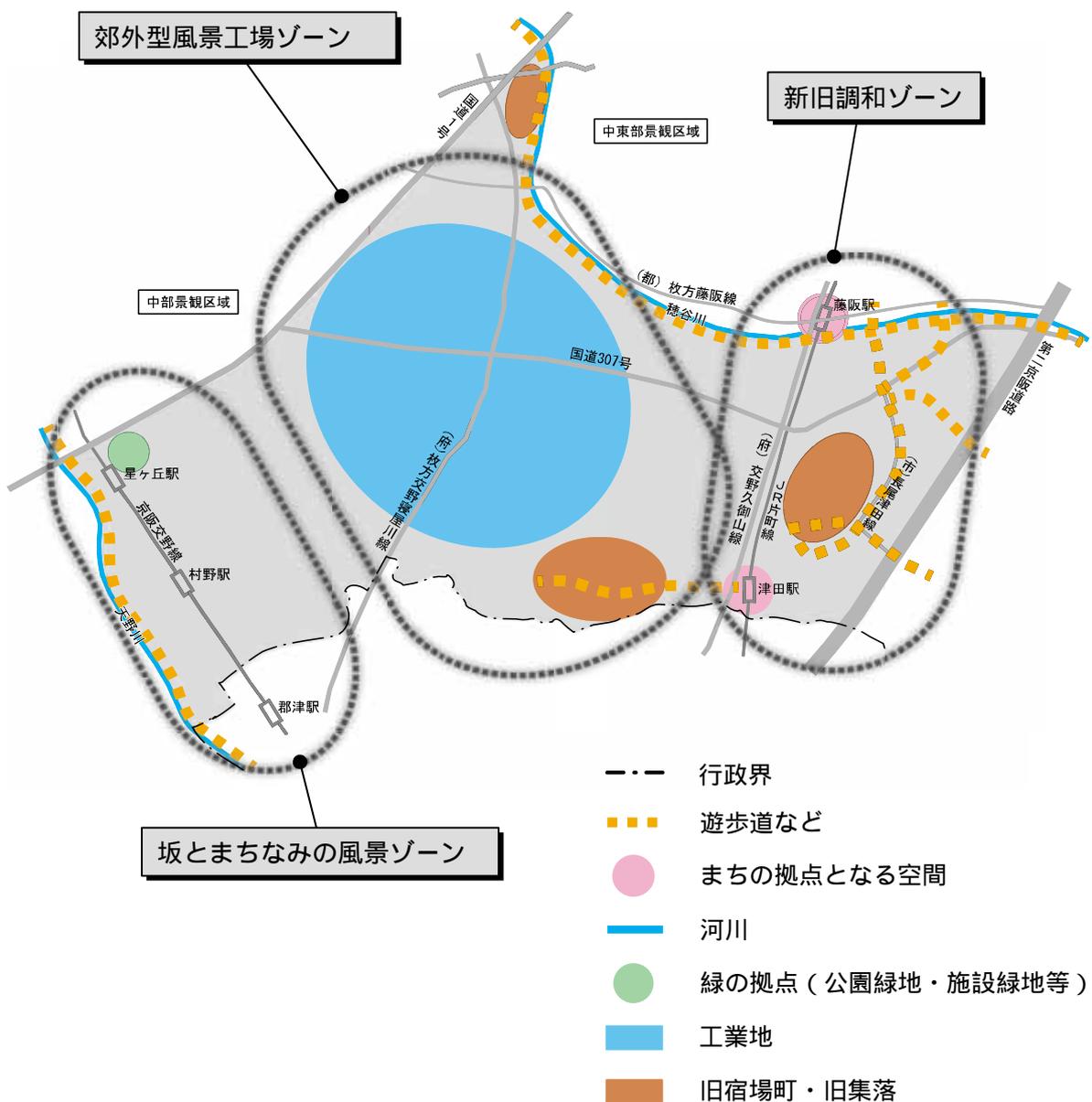
中南部景観区域 区域現況図



景観形成の方針

1. 工場敷地の緑化などによる地域と調和のとれた景観形成
2. 地域のシンボルとなるうらおいある道路の空間整備
3. 丘陵斜面林や点在する文化財を活かしたまちづくり
4. 生駒の山なみと調和したまちづくりの推進

中南部景観区域 景観形成概念図



景観形成の方向

郊外型風景工場ゾーン

幹線道路に沿って展開する工業地と周辺に広がる田園や集落が調和した、まちの風景をつくりだします。

「田園や道路景観と調和した工場風景の創造」

- ・工場敷地および街路の緑化を推進します。
- ・ブロック塀などのネットフェンス化により、敷地内緑地の視覚的解放を促します。
- ・広大な敷地を持つ村野浄水場の緑化を推進し、緑の拠点とするとともに、建物・工作物の敷際やデザインを地域のランドマークにふさわしいものとします。

「集落の落ち着いたたたずまいの継承」

- ・出屋敷・春日集落に残る落ち着いた家なみの伝統的な雰囲気継承します。
- ・集落内に残る土塀や蔵の保全を図ります。



坂とまちなみの風景ゾーン

丘陵斜面地に残る樹林を活かし、うるおいと落ち着きのあるまちの風景をつくります。

「花のある坂の風景づくり」

- ・連続した丘陵斜面林や点在する桜などの樹木の保全・育成を図るとともに、それらを活かした公園整備を行います。
- ・段丘斜面において花木を用いた法面の修景を図ります。

【関連プロジェクト】

星ヶ丘公園整備事業

新旧調和ゾーン

第二京阪道路沿いや津田駅周辺の新しいまちと津田集落、春日集落などの古いまちとが、それぞれの良さを保ちながら共存するようなまちなみ形成をめざします。

「山なみと調和した市街地景観の形成」

- ・まとまりのある樹林や街路緑化など、緑の保全に努めます。
- ・計画的な市街地開発の誘導により山すその景観を整えます。

「地域に残る歴史と自然の保全・活用」

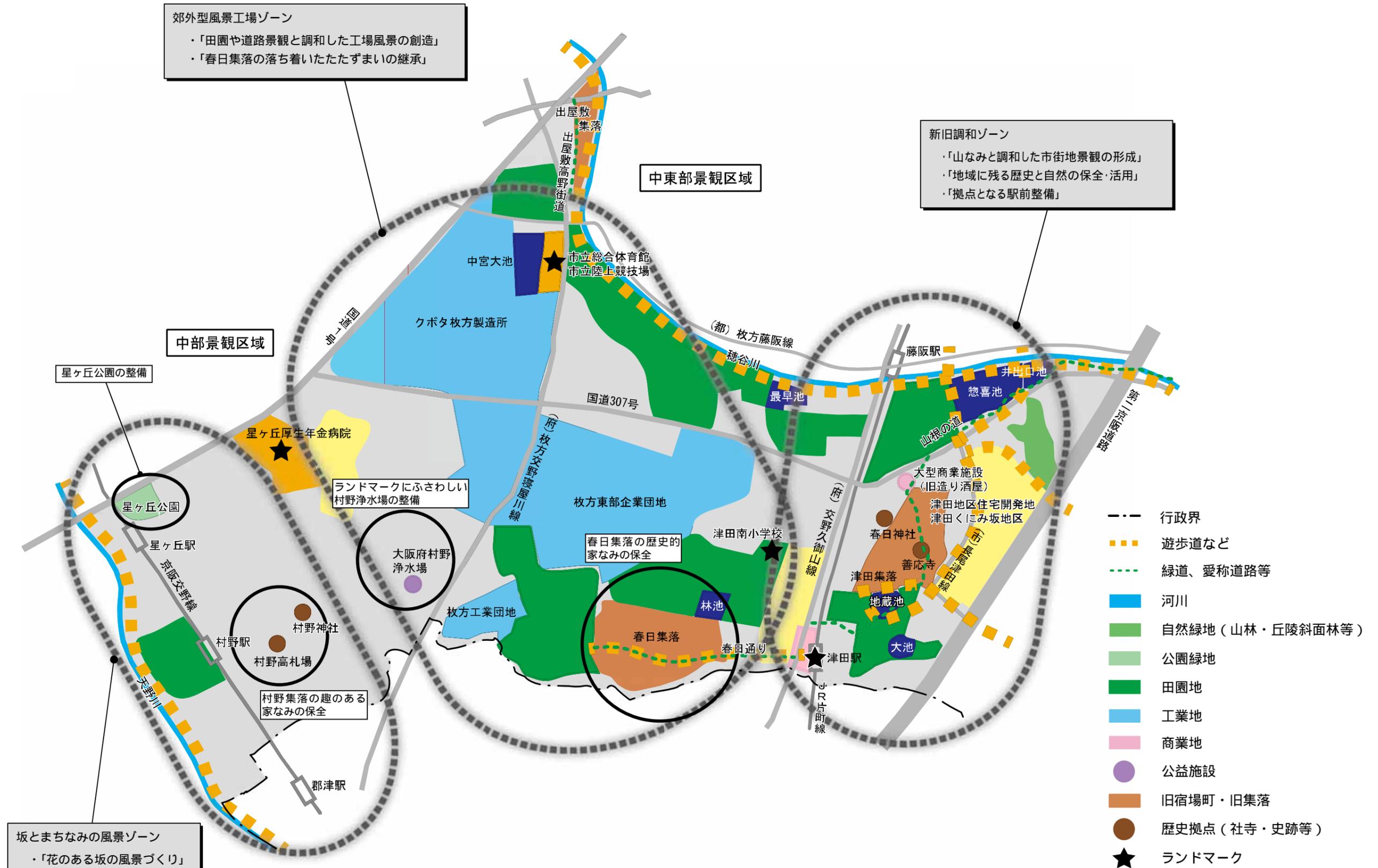
- ・津田集落の歴史的たたずまいを守り、地域の伝統を感じさせるまちなみなどの要素を活かします。
- ・春日神社、善応寺などの社寺林や、集落内に数多く見られる景観木、斜面林の保全を図ります。
- ・水と緑にふれあう拠点として、穂谷川沿いの空間を整備するとともに、それらを結ぶルートを整えます。

【関連プロジェクト】

関西文化学術研究都市構想



中南部景観区域 景観形成構想図



郊外型風景工場ゾーン
 ・「田園や道路景観と調和した工場風景の創造」
 ・「春日集落の落ち着いたたたずまいの継承」

新旧調和ゾーン
 ・「山なみと調和した市街地景観の形成」
 ・「地域に残る歴史と自然の保全・活用」
 ・「拠点となる駅前整備」

星ヶ丘公園の整備

ランドマークにふさわしい
村野浄水場の整備

村野集落の趣のある
家なみの保全

坂とまちなみの風景ゾーン
 ・「花のある坂の風景づくり」

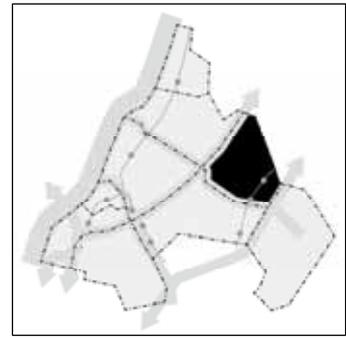
- 行政界
- 遊歩道など
- 緑道、愛称道路等
- 川
- 自然緑地（山林・丘陵斜面林等）
- 公園緑地
- 田園地
- 工業地
- 商業地
- 公益施設
- 旧宿場町・旧集落
- 歴史拠点（社寺・史跡等）
- ★ ランドマーク

(8) 中東部景観区域

地域景観の課題と方向性

船橋川と穂谷川の沿川の低地部には田園景観が残され、長尾集落や藤阪集落などの古くからの集落景観も見られます。また、穂谷川の中流部には施設が整った山田池公園や王仁公園などのレクリエーション空間が、船橋川上流の八田川沿川にはまとまりのある農地や大規模な雑木林などの豊かな緑地空間が点在しています。

一方、当区域の大半を占める起伏のある丘陵地では、計画的に開発されたゆとりのある大規模な住宅地や街路整備や緑化の比較的進んだ大規模な工業団地、3箇所の大学などが当区域全体に広くパッチワーク状に点在しています。今後はそれぞれの地区が持つ土地利用の特徴と自然環境の特性を活かしながら、多様でゆとりのある景観形成を進めていきます。



中東部景観区域 区域現況図

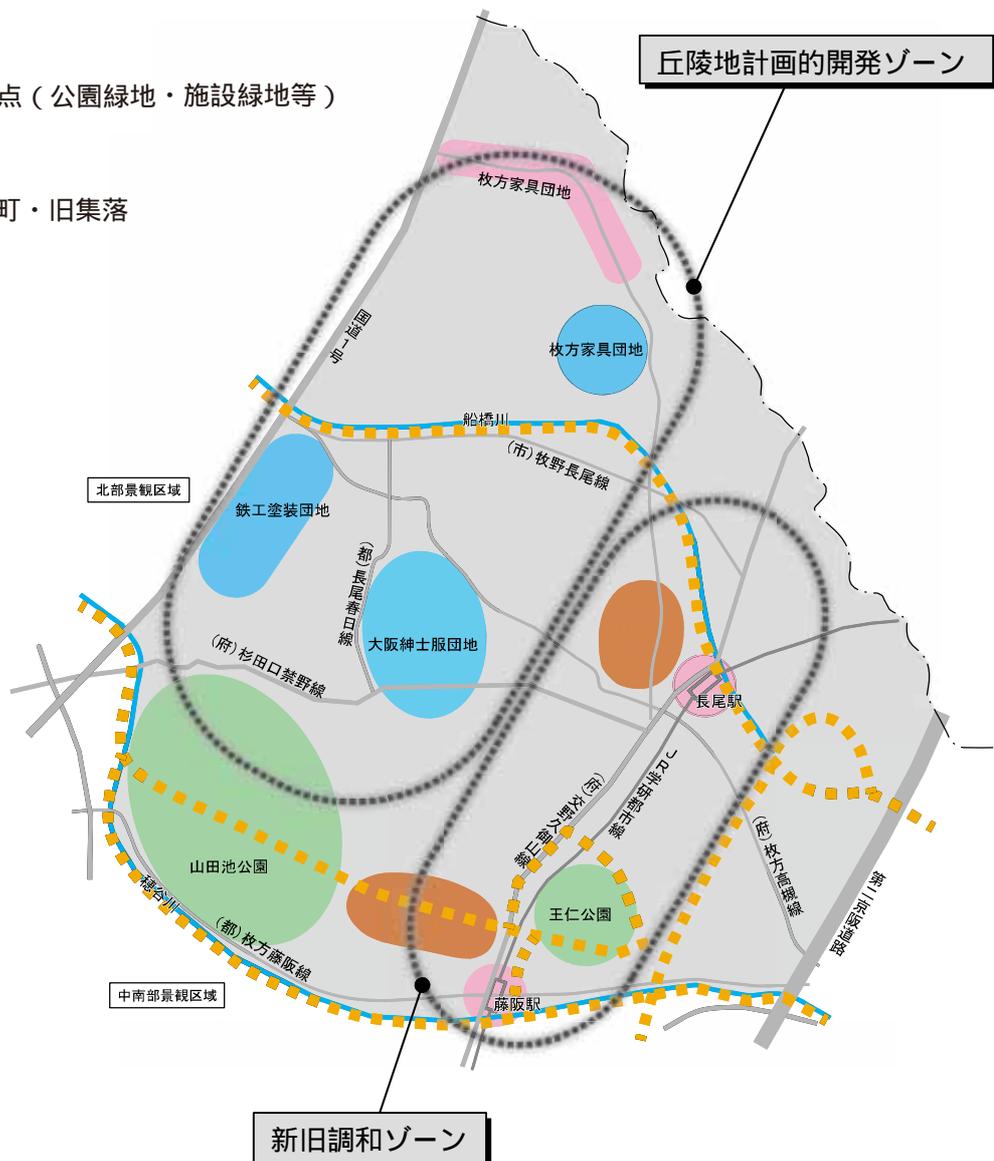


景観形成の方針

1. 生駒の山なみと調和したまちづくりの推進
2. 地域の骨格となる道路や駅前整備にともなう景観形成
3. 計画的開発地の周辺環境整備によるうるおいと活気のあるまちづくり

中東部景観区域 景観形成概念図

- 行政界
- 遊歩道など
- まちの拠点となる空間・商業地
- 河川
- 緑の拠点（公園緑地・施設緑地等）
- 工業地
- 旧宿場町・旧集落



景観形成の方向

新旧調和ゾーン

丘陵地の新しいまちとJR学研都市線に沿った古いまちとが、それぞれの良さを保ちながら共存するようなまちなみ形成をめざします。

「山なみと調和した市街地景観の形成」

- ・まとまりのある樹木の保全や街路緑化など、積極的な緑の創造に努めます。
- ・計画的な市街地開発の誘導により山すその景観を整えます。

「地域に残る歴史と自然の保全・活用」

- ・長尾・藤阪集落の歴史的たたずまいを守り、地域の伝統を感じさせるまちなみなどの要素を活かします。
- ・菅原神社の杜をはじめとする社寺林や、集落内に数多く見られる景観木の保全を図ります。
- ・水と緑にふれあう拠点として、河川沿いの空間を整備するとともに、それらを結ぶルートを整えます。

「拠点となる駅前整備」

- ・憩いの場、まちの歴史や情報を伝える場である駅前広場を整備することで東部地域のターミナル拠点としての機能を高めます。

【関連プロジェクト】

関西文化学術研究都市構想



丘陵地計画的開発ゾーン

緑豊かで明るく活気のある景観形成を図り、丘陵部に連なる計画的開発地の個性を活かしたまちづくりを行います。

「計画的開発地の特性を活かしたイメージを高める景観形成」

- ・家具団地において、「家具のまち」をイメージしたまちなみの形成とうるおいのある街路整備を進めると同時に、商業核としての機能の充実を図ります。
- ・道路敷きや道路沿道の民有地において花の植栽などによる緑化を図ります。また、工場等の大規模建築物の外観や色彩に配慮することにより、明るいイメージをつくりだします。
- ・計画的に開発整備されたまちなみ景観、道路景観を適切に維持しつつ、更なる向上を図ります。

「地域の主要道路の整備」

- ・計画的開発区域を貫く主要道路を地域の景観軸として位置づけ、その修景を図ります。
- ・うるおいのある街路整備を進めると同時に、開発区域内の建物の配置やデザイン、緑地の整備など全体としての調和を図ります。



